当社発行「セミナーニュース」10 月号より

地域の療育環境を支える人材育成

当社発行の「セミナーニュース」10 月号では、児童発達支援管理責任者を目指して研修に取り組む方々への Q&A を掲載しました。

当社が運営するコスモ療育クラブ ファミリア五反田では、児童発達支援管理責任者の資格取得を目指す研修生の受け入れを行っています。


第 364 号　seminar news

療育の現場より　児童発達支援管理責任者の研修

コスモ療育クラブ ファミリア五反田　児童発達支援管理責任者　高木 二郎

現在、ファミリア五反田には、児童発達支援管理責任者を目指す2名の方が研修に来られています。

お二人とも園で文（ 勤務され、お忙しい実務経験を積んでいらっしゃる。今後、半年間ファミリア五反田で実務経験を積み、資格取得に必要な研修へ進む予定です。

今回は、そのお二人に話を伺いました。

――園から「児童発達支援管理責任者の資格を取得してほしい」と言われたとき、どう思いましたか？

A さん「10 年ほど前から上指していた資格だったので、ご縁があっていただけて嬉しかったです。おおよそ通りに進めました」

B さん「幼稚園教諭の資格だけでなく、仕事の幅を広げたいと思っていたので、ありがたかったです」

――これまでに、障害のある方と関わった経験はありましたか？

A さん「知的な支援を必要としている子供たちがいて、サポートをしながらいろいろと考えてきました。学生時代には、障害者施設へボランティアに行ったり、点字で本を作ったりした経験もあります」

B さん「これまで保育した園児の中に、アスペルガー症候群や自閉症の子がいました。また、現職よりも以前に支援学校へ通っている子がいたり、子供のころは特に意識していませんでしたが、振り返ると、それが初めてのかかわりだったのだと思います」

――実際に療育の現場で、発達に特性のある子供たちと関わってみてどうでしたか？

A さん「その子の成長のために、どこまで手を出せばよいのか、最初はなかなか分かりませんでした。マンツーマンでの支援業務も初めてで、『わからない』とはまさにこのことだと思いました」

B さん「療育施設に来たのは初めてだったので、もっと大変なイメージをもっていました。でも実際に関わってみると、子供はみんなとてもかわいいと思いました。同時に、施設の中だけでなく、家庭や学校でもっとできることがあればよいとも感じました」

――この施設で一番楽しいことは何ですか？

A さん「子供たちの笑顔を見られることです。『楽しかった！』『もっとやりたい！』と言ってもらえると嬉しいですね」

B さん「子供と関わる中で、楽しさを一緒に共有できることです」

――逆に、難しいと感じることはありますか？

A さん「マンツーマンだからこそ、一人ひとりに合わせた『1 人が必要である』その子の『やりたいこと』をどう広げていくかに、難しさを感じています」

B さん「幼児保育とは違いマンツーマンで、しかも保護者の方が見ている中で行うので、緊張を感じることがあります」

――今後、園ではどのようなことを考えていますか？

A さん「子供に寄り添える理解者になりたいです。地元に戻って施設を建て、将来的には園長も務めていきたいと思っています」

B さん「広く、深でも展開する予定です。ここで学んだことを、他の施設にも共有していきたいと思っています」

最近、園児募集や地域の療育環境の充実を目的に、「同じ悩みを抱える保護者や支援機関（アドバイザーなど）を増やしたい」という声が増えています。ファミリア五反田にも、発達支援に向けた実務経験を積むために研修へ来られる方が増えてきました。

これまでにも、ここで研修を積み、研修を終えた後、引き続き児童発達支援事業所を発足された方がいます。

現在後も月 1 回の Zoom 会議を行い、近況や悩みや戻りごとの相談を受けています。

園の中に療育の場が広まり、地域にその輪が広がっていくことは、インクルーシブな環境づくりの一つの形ではないでしょうか。

なにより、発達に特性がある子どもたちが、安心して過ごし、笑顔になれる場所が、一つでも多く増えていくことを願っています。

5

誌面では、研修に参加された方々が、資格取得を目指したきっかけや療育の現場で感じたやりがい、子どもたちとの関わりを通じた学びについて語っています。研修生からは、子どもたち一人ひとりに合わせた支援の重要性を実感するとともに、子どもたちの笑顔や成長を身近に感じられることが大きなやりがいであるとの声が聞かれました。

また、一人ひとりの特性に応じた支援方法を考える難しさや、専門職として必要となる知識や技術についても紹介されており、日々の学びを通じて成長を目指す姿が伝えられています。

当社では、児童発達支援管理責任者をはじめとする専門人材の育成を通じて、地域の療育環境の充実に取り組んでいます。今後も、子どもたち一人ひとりの成長を支える支援体制の充実に努めるとともに、地域社会への貢献につながる取り組みを推進してまいります。